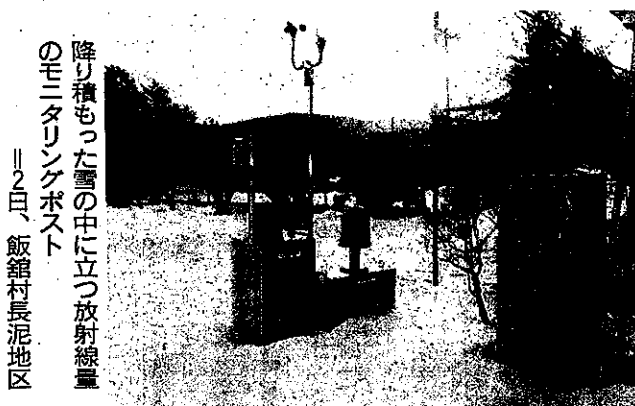


# 積雪が地表の放射線遮る



## 飯館・住民に混乱も

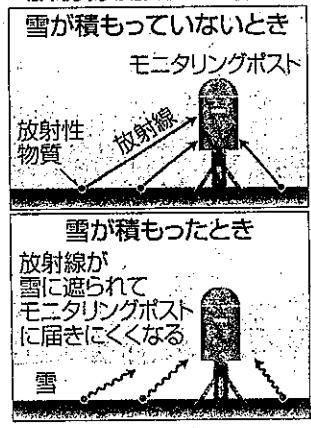
福島第一原発から北西約33キロの飯館村長泥地区にある放射線量を測るモニタリングポストの数値は、1月20日午前0時に毎時7・14マイクロだったのが、同22日午後11時に同4・26マイクロにまで下がった。その後ほぼ同じ値で推移し、今月2日午後4時時点で同4・43マイクロ。1月20日から3日間、村の天候は雪で、モニタリングポスト周辺は今月2日時点で20〜30センチほど雪が積もっている。

飯館村では事故で放出された放射線量が低下している。原因と説明してほしい」と訴える。

# 線量見かけは低下

福島第一原発事故で計画的避難区域に指定され、住民が避難している飯館村で1月以降、降り積もった雪の影響のため空間線量が低く測定されていることが5日、分かった。雪が「バリア」となり、地表の放射性物質から出る放射線を遮っているとみられる。見かけでは線量が下がっているため、原因を知らない住民からは「しつかりと説明してほしい」との声が上がっている。

### 積雪による放射線測定への影響



いた空間線量が測定されているが、積もった雪で放射線が遮られ、モニタリングポストまで届きにくくなっているとみられる。県は「まだ除染していない地域で、原因は積雪しか考えられない」としている。

村から福島市に避難している男性は「線量が下がりはじめると考え始めた村民も多い。県や政府は単に数値を発表するのではなく、混乱を避けるため雪が原因と説明してほしい」と訴える。

で約20度上がり、約70度になったことを明らかにした。近頃の別の温度計に大きくな昇はないといい、東電は「別の別の温度計に大きくな昇はない」といっている。性能があるとして、当面、流量を増やし温度を監視する。

東電は1月、配管を交換するため、2系統ある注水ラインの流量をそれぞれ変更した。7度を記録した。東電は「水の流れが変わって、この温度計の付近に

量を増やしているが、温度は安定しないという。東電は「水の流れが変わって、この温度計の付近に

住民説明会では「なぜ方針決定まで時間がかかったのか」「一時保管でなく、永久に放置されるのではなにか」などと懸念の声が上がったが、強い反対意見はなかった。

現場では昨年10月、深さ

汚染土を密閉し埋設 千葉の柏市、住民に説明 千葉県柏市の市有地から高濃度の放射性セシウムが検出された問題で、市は5日、汚染土を当面は移動させず、コンクリート製容器で密閉して現地に埋設する方針を地域住民に説明した。市によると、容器は四方で、地中約30センチに埋設。周囲に看板や柵を立てて注意喚起する。2月中旬に作業を始める。

燃料の形状や位置が変わった可能性は低いとした。

宮城県が国の復興特区制度を活用し、同で政府に申請しました。

復興特区制度とは、被災地の復興をいち早く実現するために設けられた制度です。手続きを簡略化し、規制や税制を緩和するなどして、特区に指定した地域での新しいまちづくりをスムーズに進めることを目的に創設されました。

Q 民間投資促進特区の内容は、

A 津波被害を受けた沿岸部に新たに進出する企業を事実無税にするほか、以前からある企業も一部の課税を免除するなど、復興に携わる企業を優遇する制度です。政府が定めた復興

約30センチの土壌から1発当たりの27万6千ベクレルのセシウムを検出。環境省は、東京電力福島第一原発事故で放出されて蓄積した可能性が高いとの最終報告をまとめた。地元町内会の三上謙吾会長(63)は「これまで対策が決まらず、不安を訴える住民が多かった。一日も早く作業を始めてほしい」と話した。

トルコが韓国がソウル共博大統領は5イスタンブールドアン首相の原子力空協力を再開した。聯合三た。日本が海部の黒海沿岸原発建設計画れ、韓国がトで巻き返しを

トルコが韓国がソウル共博大統領は5イスタンブールドアン首相の原子力空協力を再開した。聯合三た。日本が海部の黒海沿岸原発建設計画れ、韓国がトで巻き返しを

京電力福島第一原発事故の影響で企業流出が続く本県。影響で企業流出が続く本県。影響で企業流出が続く本県。

手企業のデータセンターや再生可能エネルギー関連、医療福祉機器など幅広い業

受け入れた既存の中小企業の支

受け入れた既存の中小企業の支

受け入れた既存の中小企業の支

# 栄齋

生糸を使用した世界一薄い絹織物の開発で応募。携わった斎藤社長ら10人が受賞した。  
同社は、最も細いとされ

## 世界

大田栄齋  
内閣総理大臣  
栄齋

を開設した。工程数が従来3分の1になり、消費電力の削減や材料のリサイクル推進に役立つことが評価された。

インフルエンザのため出席停止となった県内の公立幼稚園、小、中学、高校、特別支援学校の園児、児童、生徒は前日から177人増

警戒区域の小学校和津波で鹿島区の真野

# 除染の手引一本化

## 県が技術指針 施工管理基準も

県は3日、除染の作業手順や具体的な手法などをまとめた「除染業務に係る技術指針」を公表した。放射性物質汚染対処特別措置法の全面施行を受けた国の財政負担による除染の本格化を前に、各市町村の除染技術の向上に役立ててもらい、作業の円滑化につなげる。

除染や廃棄物処理の方法については、環境省が昨年未だ公表した「除染関係ガイドライン」など国が複数の手引を示しているが、各市町村からは「資料が膨大で利用しにくい」との指摘が相次いでおり、県は複数の手引を一本化する形で技

### ネットで公開

除染例(一般住宅など)

【屋根洗浄】ごみなどの堆積がある場合は清掃を行った後、高圧洗浄を行う

【植栽・庭】常緑樹は、枝葉を剪定(せんてい)し、落ち葉や腐葉土を除去  
落葉広葉樹は、落ち葉などを除去  
庭の除草



【外壁・門塙洗浄】外壁および門塙の洗浄が必要と判断された場合は、高圧洗浄を行う

術指針をまとめた。除染方法では、建物や道路、農地など対象別に手順を掲載。  
一般住宅の場合、屋根はごみ清掃を行った後に高圧洗浄を実施することや、庭は樹木の剪定を行うことなど効果的な除染手法を図や

写真入りで紹介している。また、技術指針には、国の手引には記載されていない除染の施工管理基準も盛り込んだ。  
除染作業前と作業後の線量の低減を確認するため、複数地点で線量を測定することなどを求めている。

技術指針は、同日から県のホームページで公開している。新技術の開発などに合わせて内容は随時更新する方針。

### 阿武隈川堤防で 周囲より高線量

二本松、0.71マイクロシーベルト  
国交省東北地方整備局は3日、浪江町の砕石場から出荷された砕石を使用した同省発注工事は県内で計11カ所と発表。このうち、二本松市の阿武隈川堤防工事1カ所で周囲よりも放射線量の高い毎時0.71マイクロシーベルトが測定された。

同整備局によると、堤防周辺の線量は毎時0.39マイクロシーベルトだった。  
また、同整備局は、浪江町の砕石場を除く計画的避難区域など避難区域内にある砕石場の石を使った工事件数も発表、県内28カ所で石の使用が確認されたが、

いずれも線量は周囲とほぼ変わりなかったという。  
意向調査票を発送  
川内、帰村意思把握へ

4月からの村での生活再開の方針を示している川内村は3日、全1300世帯に帰村の意向調査票を発送

### 原町三中再開1週間前倒し

南相馬市教育委員会は3日、校舎の改修工事を行っている原町三中の自校での授業再開日を当初予定より1週間前倒しし、今月27日とすると発表した。これにより、同市鹿島区で授業を行っている原町区の全校が自校で授業を再開することが決まった。  
同中は震災で合併浄化槽が壊れ、大規模改修工事を行っている。現在生徒は鹿島中で授業を行っている。市教委は当初、3月5日を再開予定とし、工事の状況

村の復興に向け、村民の帰村の意思や時期などを把握するため実施する。  
遠藤雄幸村長が先月31日に行った帰村宣言の全文、仮設住宅や借り上げ住宅の退去の手順などを説明した書面も同封した。調査票の返送期限は20日。  
市は、4月で学校を再開町教委職員と25人が町内の葉南小、檜立立ち入り、再の線量を測った。超えた物は調査を終えたい予定。  
町は、同市き明星大の所舎建設を目指す。校舎の完成が見込みである。成するまで同の民間会社社して学校を再